

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策1-2-1 売れる農林水産品・加工品づくり
---------	-------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	農産園芸課長 森上 浩平	電話番号	0852-22-5123
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	米の計画的生産推進事業		
目的	(1) 対象	米の生産者	
	(2) 意図	米の計画的生産の円滑な実施。	
事業概要	○米の需給調整の円滑な推進を図るため、市町村等の地域段階での米の計画的生産の推進及び現地確認等に要する経費に対し助成を行う。 ○米の需給調整に係る事務を円滑に進めるため、需給調整システム説明会等を実施する。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			米の生産数量目標達成率	$(\text{主食用水稻作付面積} / \text{生産目標面積}) \times 100$	目標値		100.00	100.00	100.00
			実績値	98.60	99.60	99.50	99.60		
			達成率		99.60	99.50	99.60		%
指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位	
		目標値		0.00	0.00	0.00			
		実績値	0.00	0.00	0.00	0.00			
		達成率		0.00	0.00			%	

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	12,710	12,096
うち一般財源 (千円)	12,710	12,096

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

○配分された米の生産数量目標をつくりきるための措置として、11月にガイドラインを提示し地域間調整に積極的に取り組んだ結果、平成24年110t、平成25年227t、平成26年130t、平成27年235tの調整が実施され、達成率向上に寄与している。
 ○平成26年産米の都道府県別需給調整の取組状況は、全国21府県が超過達成の状況で、島根県は生産調整を達成している。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

○市町村及び地域農業再生協議会の担当者会議や意見交換会等を通じて、米の需給調整等に関する指導助言による円滑な事業推進を図った結果、米の計画的生産につながった。
 ○平成26～27年の県から市町村への米の生産数量目標配分ルールの中で、配分された生産数量目標をつくりきるための措置として、①99%ルールや②地域間調整の実施を位置づけて、できる限り100%に近づくよう誘導した。
 ○平成27年産米の生産数量目標配分に当たっては、理想値として「自主的取組参考値」が示されたため、国から県への設定方法に準じて県から市町村へ提供した。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」
 ○主食用米の契約的取引の拡大や水田フル活用の推進により、需要に応じた生産が行えるように誘導していく必要がある。

②困っている状況が発生している「原因」
 ○国の米政策の見直しにより、米の生産数量目標配分を平成30年から見直すという大きな方針転換が示されたため。
 ○平成26年産米の概算金が大幅に下落したため。

③原因を解消するための「課題」
 ○平成26～27年の県から市町村への米の生産数量目標配分ルールを見直し、平成28～29年の新たな配分ルールを作成する時期となるので、新たな配分ルールづくりにおいては、契約的取引を推進する内容とする。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

○平成28～29年の新たな配分ルールづくりにおいては、需要に応じた生産（売れる米づくりの取り組み）を推進するため、契約的取引数量を優先配分する算出方法に見直す。
 ○需要に応じた米生産が行われ、需給と価格の安定が図られるよう、国が責任を持って米の需給改善に必要な対策を講じるとともに、今後3年間で米に関するきめ細かい需給・価格の情報や販売進捗・在庫情報の提供等の環境整備を実施するよう要望する。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）